

議事要旨(4) 実務対応報告「厚生年金基金に係る交付金の会計処理に関する実務上の取扱い(案)」について

西川副委員長及び秋葉統括研究員より、審議事項(4)「「厚生年金基金に係る交付金の会計処理に関する実務上の取扱い(案)」の審議にあたって」のほか、資料「実務対応報告「厚生年金基金に係る交付金の会計処理に関する実務上の取扱い(案)」」、「実務対応報告公開草案「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い(案)」」に基づき、次の説明がなされ、これに対する審議が行われた。

1. 実務対応報告「厚生年金基金に係る交付金の会計処理に関する実務上の取扱い(案)」について

まず、審議事項(4)により、これまでの議論の整理を行った。次に、実務対応報告案の前回委員会からの修正について、説明された。

2. 実務対応報告公開草案「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い(案)」について

退職給付制度間移行等の会計処理のうち、移行後の制度が複数事業主制度になり例外処理になる場合の会計処理について、前回までの委員会からの修正を中心に説明された。

3. 委員等からの指摘事項や意見

「厚生年金基金に係る交付金の会計処理に関する実務上の取扱い(案)」について

- ・ 交付金のキャッシュ・フローの確実性がポイントとなると思われるが、条件が整えば交付金は必ず交付されることから、制度の概要は保険契約と同じであり、最低責任準備金以上のリスクについては国に移転しているはずであるという意見があった。
- ・ これに対して、別の委員より、将来入ってくるかわからない交付金を先に認識してもよいのかという意見があった。
- ・ また、退職給付債務の消滅の認識について、「金融負債の消滅を認識することと相違するわけではない」という点について、大事な点であるので、もう少しわかりやすく記載していただきたいという意見があった。

「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い(案)」については、質問事項等はなかった。

以上